

ベイ★キッズ

横浜子育て応援マガジン

ベイ★キッズ

FREE
2026 WINTER
vol. 059

お金を貯める

02 | 新生活に向けて
～靴を準備しよう!
子育てあるある相談室

03 |
まちすき
ファイナンシャルプランナー
波柴純子さん
身近でできるSDGs
もったいないを減らそう
動物園に会いに来てね
カピバラ
パパと遊ぼう
寒い冬でも元気に遊べるスポット

04 |
こどもと一緒に楽しもう
お土産買うならココ!なお店

Credit

スタッフ: 東恵子 船本由佳 本田真弓
ベイ★キッズ みなとくらす
デザイン: 川本智子
協力: あそびい横浜
全家研ポピー 公益財団法人 横浜市緑の協会



写真: 小野寺香



● 編集・発行/ベイ★キッズ編集部[NPO法人シャーロックホームズ] 〒220-0002 横浜市西区南郷井沢18-1-110 TEL.045-324-5033 FAX. 045-548-4514
http://baykids.jp info2@baykids.jp * 情報提供や広告掲載に関するお問い合わせは上記まで。 * 紙面の無断転載を禁じます。

これからの資産形成 令和の家計運営は?

物価上昇や将来の不安を背景に、「一人ひとりが、自分や家族の将来を見据えて資産を形成する時代」が訪れています。保険や年金だけに頼らず、各家庭で将来に備える動きが広がっています。

2024年にスタートした新NISAでは、非課税枠が拡充され、成長投資枠240万円、つみたて投資枠120万円の合計360万円が年間投資上限となり、生涯で最大1,800万円までの投資が非課税となりました。非課税期間も無期限化され、より柔軟に資産を運用できるようになっています。将来的に未成年向けの制度拡充も議論されています。

また、iDeCo*の加入対象も拡大し、企業型確定拠出年金*と併用できるケースが増えました。共働き世帯にとっては、節税と老後資金の両立がしやすくなっています。

家計管理のスタイルも変化しています。以前はどちらか一方が家計を管理することが一般的でしたが、今は家族でチームとして家計を考える傾向が強まっています。共通の家計アプリを使いながら、夫婦で相談して資産形成を進める家庭も増えています。

教育資金の準備方法も多様化しました。かつては学資保険が主流でしたが、いまはNISAなどで積立投資に取り組む家庭も増えています。進学時期や進路の選択肢が広がる中で、「柔軟に使えるお金」をどう準備するかがポイントになっています。

貯蓄や投資を「仕組み化」しよう

子育て世代は日々の支出に追われがちですが、あえて将来を見据えて「仕組み」でお金を貯める意識が大切です。

つみたてNISAなどを利用すれば、毎月決まった額を自動的に投資に回すことができ、「先取り貯蓄」の習慣づけにもつながります。気づいたときには自然に資産が積み上がっているという安心感も得られます。

投資というと「リスクが怖い」と感じる方も多いですが、コントロールできる範囲で取り組むことが大切です。

たとえば、NISAであれば、少額からでも始めやすく、時間を味方につけることで安定した成果が見込めます。

>>> 用語解説 <<<

◆iDeCo

イデコ・個人型確定拠出年金。自分が拠出した掛金を、自分で運用し、資産を形成する年金制度。掛金は原則60歳以降も一定条件下で拠出可能であり、60歳以降に老齢給付金を受け取ることができる

◆企業型確定拠出年金

会社から掛金が拠出され、加入者が自身で運用し、原則60歳以降に給付金を受取る年金制度



生活費・保険・教育費、夫婦での家計運営、計画的にお金と向き合うには?
ファイナンシャルプランナーに聞きました。

子育て世代の資産形成



児童手当を活用しよう



2024年10月から、児童手当は18歳まで支給されるようになり、所得制限も撤廃されました。

この児童手当を、将来に向けた貯蓄や投資に回すのも一つの方法です。まだ子どもが小さい時がチャンスです。資産

形成は一気に増やすのではなく、コツコツと時間をかけることです。毎月の生活口座とは別にしておけば、18歳の3月までに総額270万円前後のまとまった資金が準備できます。投資運用すれば、大学進学など将来の大きな支出に対応できる力になります。リスクを抑えた積立投資に取り組むことで増やしていきましょう。

投資を始めると、ニュースや経済の動きに関心が高まる人も多いです。この先、世界の国や企業はどうなるのか、医療・環境・IT・物流・女性活躍などこれから伸びる可能性のある分野に目を向けたり、投資家が注目するESG(環境、社会、ガバナンス)に取り組む企業のことを知るなど、自分のお金が社会と繋がっているという実感を得るきっかけにもなるでしょう。

SNSなどで極端な情報に惑わされず、冷静に判断できる第三者(専門家や信頼できる相談相手)を持つことも、安心して続けるコツです。

こころづもり～資産形成にのぞむ気持ち

お金を貯めることは、単に数字を増やすことではありません。資産形成とは、家族の未来を考えること。目的を明確にし、家族で共有することが大切です。たとえば「教育資金」「家の購入」「家族旅行」など、使う目的を話し合っておくと、無理のない貯め方ができます。

家族であらためてお金の話をするのが難しいと感じる方も多いかもしれません。『子どもの夢』や『家族の未来』を語るきっかけとして、お金をどう使うかを考えてみると自然に話せます。たとえば「英語の歌が好きだから留学するかも」「子ども部屋が欲しいから引っ越したい」など将来起こりうる可能性や楽しい夢の話から始めて、徐々に将来の資金計画を考えてみましょう。

子育て世代にとっての資産形成は、「家族で共通の未来のイメージを持つ」ことから。そして、「時間を味方につける」視点を持つこと。子どもが成人するまで18年もあります。その時間を味方につけて、日々の暮らしに追われすぎず、未来への準備を楽しむ気持ちを大切にしたいものです。

波柴さんへのインタビューは3面にも

お話を伺った方
ファイナンシャルプランナー 波柴純子さん

